

ビワマス湖中養殖推進プロジェクト

仕様書別添資料①

目的

漁業担い手の新たな漁業収入基盤を創出するため、ビワマスの琵琶湖に設置した生け簀での養殖生産による新産業の確立をめざす。

現状と課題

- ・ ビワマスは、その美味しさと琵琶湖の雄大なイメージとが相まって認知度が高まり、需要が急増している。
- ・ 一方、天然は資源的な制約、陸上養殖は成長が遅い等の生産の低効率により、需要を満たしきれず、ブランド力強化の機会を逸している。
- ・ 一般的にマス類養殖は、水量が生産量を左右するため、豊富な水量が確保できる湖中養殖による生産量の増大の可能性が期待される。
- ・ 令和7年度秋から令和8年度春にかけて湖中生け簀で試験的に生産した結果、平均体重は530gにとどまった。

プロジェクトイメージ



ロードマップ

